

と き め き 呉市土木未来プラン後期実施計画（素案）について

1 趣 旨

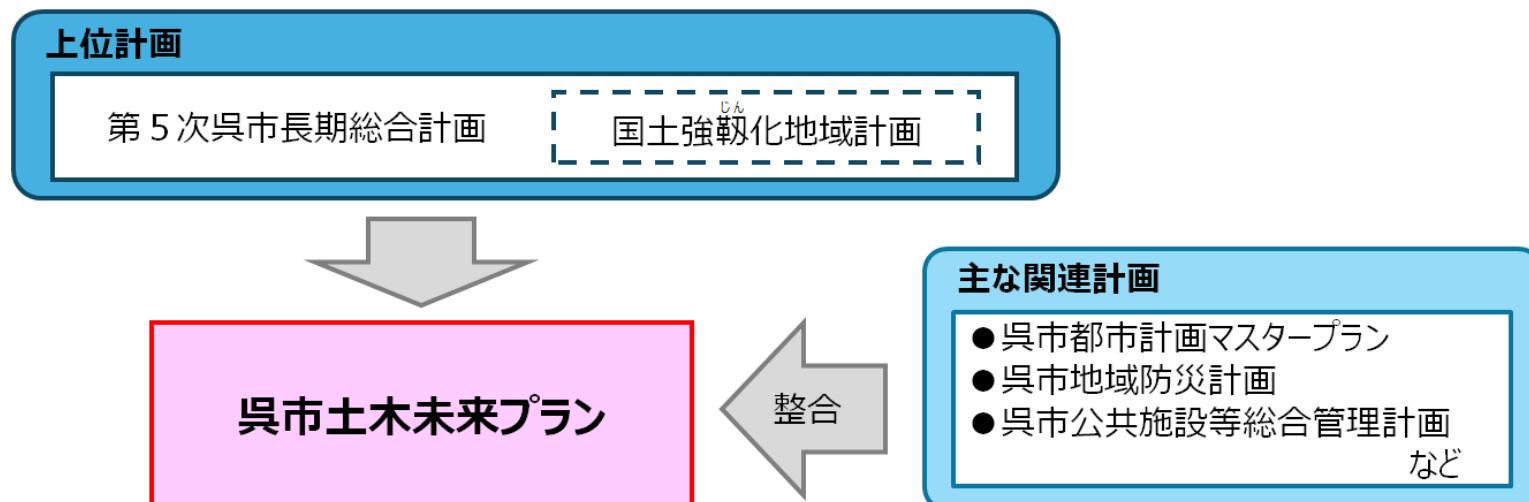
呉市では、社会資本のうち道路、河川等に係るマネジメントの基本方針を定めるとともに、当該基本方針に基づき、効率的・効果的に社会資本整備を推進するための実施計画として、「呉市土木未来プラン」を令和3年度に策定し、これに基づき土木行政の運営を行っています。

呉市土木未来プランは、令和3年度から令和12年度までの10年間の施策の「基本方針」と、前期・後期（各5年間）の「実施計画」で構成されています。

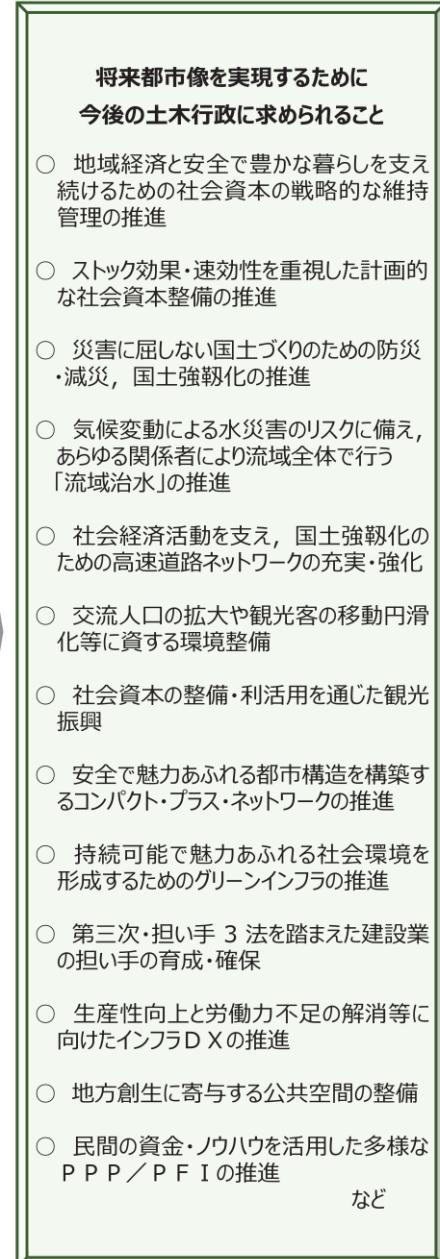
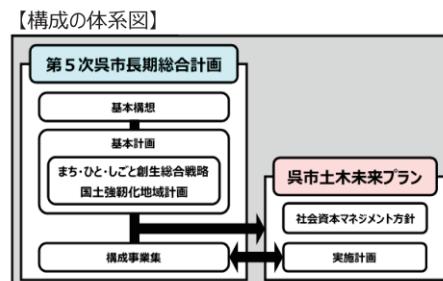
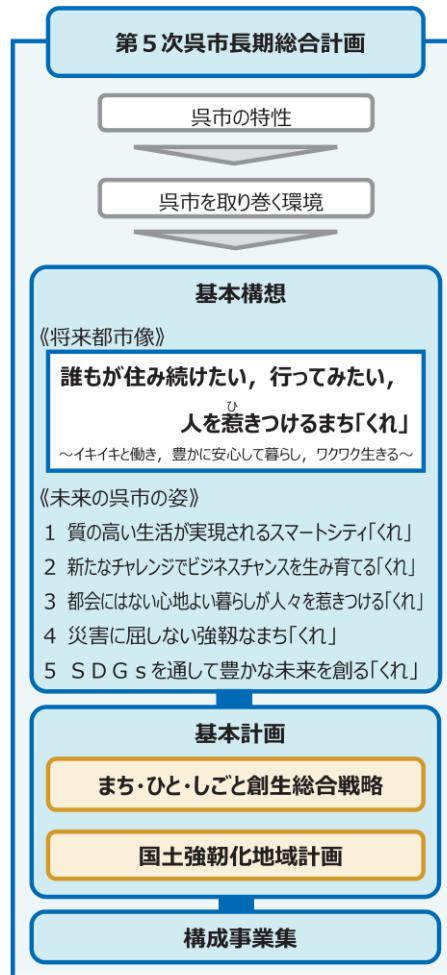
このうち、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とする「前期実施計画」が令和7年度末に終了することから、この度、令和8年度から令和12年度までの5年間を計画期間とする「後期実施計画」を策定するものです。

なお、国・県事業の実施箇所については、現在、広島県において策定作業中である次期事業別整備計画の策定後に掲載することとします。

【計画の位置付け】



【計画の概要】



吳市土木未来プラン

社会資本マネジメント方針 (令和3年度から令和12年度までの10年間)

社会資本を適切にマネジメントしていくための三つの基本方針

①社会資本の適正な維持管理

インフラ施設の老朽化対策	<ul style="list-style-type: none"> ■メンテナンスサイクルの構築 ■事後保全から予防保全への転換
迅速かつ効率的・効果的な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ■日常的なパトロールによる施設の状況把握 ■市民ニーズに応じた迅速・適切な維持管理

②社会資本ストックの有効活用

既存ストックの機能改善	<ul style="list-style-type: none"> ■道路の安全性・信頼性の向上に向けた取組 ■市民ニーズに応じた施設の再生・刷新
既存ストックの多目的利用	<ul style="list-style-type: none"> ■公共空間を活用したにぎわいの創出 ■社会資本の整備・利活用を通じた観光振興
ハードと一体となったソフト対策	<ul style="list-style-type: none"> ■防災意識社会を構築するためのソフト対策 ■地域と一緒にした交通安全対策

③社会資本整備の重点化

激化する異常気象と自然災害に対する防災・減災、強靭化対策	<ul style="list-style-type: none"> ■流域全体・総力戦で挑む治水対策 ■命と暮らしを守る土砂災害対策
災害に強い道路ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> ■道路ネットワークの多重性・代替性の強化 ■重要物流道路・緊急輸送道路等における橋りょうの耐震補強
物流の効率化による生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ■生産性を大きく向上する高速道路ネットワークの機能強化 ■安全で円滑な物流を確保するための幹線道路ネットワークの整備
交流人口の拡大、観光周遊の更なる活性化	<ul style="list-style-type: none"> ■広域的な交流を支える高速道路ネットワークの機能強化 ■観光資源をつなぐ道路ネットワークの整備
持続可能なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ■地域産業・地域づくりを支える道路ネットワークの整備 ■コンパクトで全ての人々にやさしく、ゆとりとにぎわいのあるまちづくり ■安全・安心に利用できる道路空間の形成
環境保全と循環型社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> ■環境に配慮したインフラ施設の省エネルギー化 ■自然と共生するグリーンインフラ

三つの基本方針を効果的に進めるための施策

公共工事の品質確保とその担い手中長期的な育成・確保
インフラDXの活用
多様な主体との連携
施策の点検と事業の見える化

実施計画

(前期・後期の各5年間)

対象施設：道路、河川、砂防、急傾斜、公園

後期5年間の投資予定額

精査中

2 前期実施計画の取組と成果

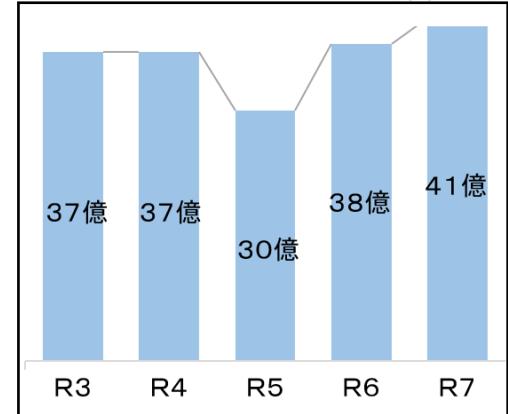
(1) 投資額

国の補助や財政的に有利な市債などを積極的に活用して事業費を確保することで市の財政負担を軽減し、前期実施計画の目的を達成するために、おおむね200億円の投資予定額としています。

これまでの投資額については、令和3年度が約37億円、令和4年度が約37億円、令和5年度は約30億円、令和6年度は約38億円、令和7年度は約41億円（見込み）で、合計は約183億円（見込み）となり、投資予定額の9割を超える見込みです。

前期実施計画の合計投資額

約183億円（R7見込み）（単位：円）



(2) 事業進捗

前期実施計画における道路、河川、急傾斜及び公園の完成予定数70か所については、9割を超える66か所が完成する見込みです（令和7年度予算の繰越しによる完成も含みます。）。

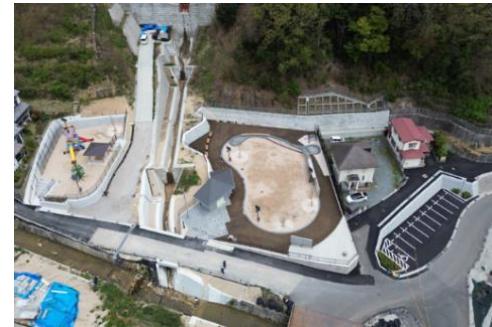
【前期実施計画の事業箇所数及び実績】
(単位 : 箇所)

事業名	完成予定	完成（実績） (R7見込み)	未完成
道 路	30	28	2
河 川	19	19	0
急傾斜	19	17	2
公 園	2	2	0
合計	70	66	4

【大新開吉松線】



【天応西条公園】



(3) 目標達成状況

呉市土木未来プランで設定している19指標のうち、土木事業に直接関係する14指標について、前期5年間は「達成」が11指標、「未達成」が3指標となる見込みです。

【土木事業に直接関係する14指標】

指標名	基準値（R元）	目標値（R7）	実績値（R7見込み）	達成状況
橋りょう施設数に対する健全度I、IIの占める割合	87%	100%	100%	○
トンネル施設数に対する健全度I、IIの占める割合	93%	100%	100%	○
老朽化した遊具の更新数（累計）	50基	200基	207基	○
市道の無電柱化の完成延長	7.6km	8.2km	7.9km	×
ボトルネックを解消した河川数（累計）	0河川	13河川	13河川	○
急傾斜地崩壊対策工事の完成箇所数（累計）	745か所	755か所	755か所	○
平成30年7月豪雨災害復旧事業の完了率	75.4%	100%	100%	○
緊急輸送道路、重要物流道路の橋りょう、JR二線橋の耐震化率	0%	50%	60%	○
法面施設補修工事の完成箇所数	—	1か所	1か所	○
呉市内の主要渋滞箇所における年間渋滞損失時間	約231万時間	約142万時間	約142万時間	○
緊急輸送・重要物流道路改良の完成延長	—	2.7km	1.3km	×
呉駅～広島空港間のアクセス所要時間	53分	45分	45分	○
通学路交通安全プログラムに基づく通学路安全対策の完了箇所数 (要対策箇所数：107か所)	92か所	104か所	102か所	×
道路照明施設のLED化率	約14%	100%	100%	○

(4) 成果と後期実施計画の方針

投資額、事業進捗及び目標達成状況から前期実施計画の目的をおおむね達成できており、強靭化対策や効率的・効果的な社会資本の整備が推進できたと考えています。

後期実施計画においても、社会資本を適切にマネジメントしていくための三つの基本方針である、「社会資本の適正な維持管理」、「社会資本ストックの有効活用」及び「社会資本整備の重点化」に基づいた事業の実施に取り組みます。

3 後期実施計画の概要（市事業）

令和3年度に策定した基本方針に基づき、後期5年間（令和8年度～令和12年度）で呉市が実施する道路、河川、急傾斜及び公園事業の実施箇所（舗装補修、河川しゅんせつ等の維持関係を除きます。）を選定しています。

なお、災害や点検の結果等により、緊急的な対応が必要となった場合には、事業箇所一覧以外の箇所であっても対応します。



(1) 道路

ア 道路改良事業

日常生活における通行の安全性・利便性の向上に加え、消防・救急・防災活動などを支える道路及び地区のアクセス強化を推進する道路の整備を実施します。また、他の事業と一体で進める必要がある道路の整備を実施します。

イ 交通安全事業

児童生徒が安全に通学できるよう、呉市通学路交通安全プログラムに基づく対策を実施します。また、市民の安全で快適な生活を支えるため、人に優しい歩行空間の整備などを実施します。

【主な路線】

- 中央二河町線
- 都市計画道路横路4丁目白石線

改築系 (単位：路線)

区分	完成	継続	合計
道路改良	12	6	18
交通安全	8	1	9
合計	20	7	27

【中央二河町線】



【都市計画道路横路4丁目白石線】



※完成…後期実施計画期間内で完成する箇所数

継続…後期実施計画期間以降も継続する箇所数

ウ 橋りょう耐震補強事業

災害時における安全な避難路や物流ルートを確保するため、重要物流道路や緊急輸送道路を構成する橋りょうの耐震化を優先的に実施します。また、交差する道路や鉄道への落橋による二次的な被害を防止するため、重要物流道路、緊急輸送道路及びJR呉線をまたぐ橋りょうなどの耐震化を実施します。

【主な箇所】

- ・長大橋（天応大浜長谷線）

補修系 (単位：箇所)

区分	完成	継続	合計
橋りょう耐震補強	4	4	8

【長大橋（天応大浜長谷線）】



(2) 河川

気候変動に伴い激甚化・頻発化する大雨や台風等によってもたらされる河川の氾濫を防ぎ、地域住民の安全確保や地域経済の安定を図るため、ぜい弱な護岸や断面の不足している河川などについて、改良などを実施します。

【主な河川】

- ・準用河川内平川（安浦）

(単位：河川)

	完成	継続	合計
河川改良	15	2	17

【準用河川内平川】



(3) 急傾斜

がけ崩れによる被害から住民の生命・財産を守るため、一定の要件を満たす斜面について、急傾斜地崩壊防止施設の整備を実施します。

【主な箇所】

- 坪井2丁目地区

(単位：箇所)

	完成	継続	合計
急傾斜地対策	15	0	15

【坪井2丁目地区】



(4) 公園

多様な人が出会い、交流し、滞在するにぎわい空間の創出を推進するため、人を中心のウォーカブルなまちなか公共空間の整備や、観光振興及び地域の活性化のための官民連携による公園の再整備を実施します。また、災害発生時において本庁舎や体育館と連携した防災中枢拠点として公園の防災機能強化を図ります。

【主な公園】

- 中央公園
(防災公園整備、まちなか公共空間整備)
- 音戸の瀬戸公園

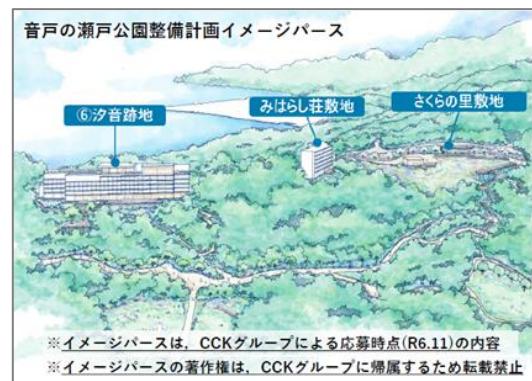
(単位：箇所)

	完成	継続	合計
公園整備	1	2	3

【中央公園（まちなか公共空間整備）】



【音戸の瀬戸公園】



※イマージバースは、CCKグループによる応募時点(R6.11)の内容

※イマージバースの著作権は、CCKグループに帰属するため転載禁止

4 策定スケジュール(案)

項目	令和7年度				令和8年度
	12月	1月	2月	3月	4月
呉市土木未来プラン 後期実施計画策定					公表 ●
議会 (行政報告)	計画（素案） ●			計画（案） ●	

※国・県事業の実施箇所については、広島県による次期事業別整備計画の策定後に掲載します。